

< もくじ >	
1. 2022年度総会・大会結果概要	1
2. 2022年度連続講座「長寿時代を生き抜く知恵」のお知らせ	3
3. 研究会からのお知らせ	3
4. 研究会からの概要報告	4
5. 事務局からのお知らせとお願い	6

1. 2022年度総会・大会結果概要

(1) 2022年度定例総会報告

2022年度総会は6月26日に、一昨年度および昨年度と同様、小規模開催いたしました。会場参加者と一般会員の皆様には総会議案に対して、電磁式（電子メール）および郵送を組み合わせた方法による議決権行使をお願いし、総会出席者が3、会長への委任が68、議決権行使が16で計87となり、団体会員を含めた会員総数153の過半数を超えて総会は成立し、提案した第1号議案～第6号議案すべての議案について可決されました。

また、新理事による臨時理事会は6月27日～28日に、電磁式および郵送により「みなし決議」の方法で行われ、全理事の可決により袖井孝子理事を代表理事に選定しました。第6号議案で可決された事務所の渋谷区から千代田区への移転も含めて、登記を申請しました。

(2) 2022年度第21回大会

- 1) 日 時：2022年6月26日（日） 14：00～17：00
- 2) 開催方法：会場開催（オンライン併用）
- 3) 開催場所：日本労働者協同組合連合会会議室 池袋ISPタマビル8階
- 4) 大会テーマ：「現代日本における年齢格差～若者世代と高齢者世代の協調・連帯を求めて～」

<基調講演>



開会、袖井会長のあいさつに続いて、実践女子大学教授の原田 謙さんに、「『エイジズム』を再考する：ポストコロナ時代の世代間関係」と題して、基調講演をしていただきました。

高齢者に対する偏見の意味を多面的にとらえるために「エイジズム」という用語に込められる国際的意味の広がりや時代的変遷を整理したうえで、近年の日本での「高齢者」に対するステレオタイプの意味が形成されたり、コロナ禍の状況下で強化されたりする要因が説明され、職場および地域での社会参加の

その要因の除去や必要な諸条件の改善法についての解説がありました。

その後、高齢者の立場と若者の立場から各 2 名のパネリストに、それぞれの分野での活動の中で、年齢格差について日頃感じておられる問題、およびそれに対してどのような努力をされているのかについてお話しいただき、原田さんと袖井会長からコメントをいただきました。最初に、関東地域で広く自然保護観察員として活動されている小原芳郎さんから、自然観察指導の実践活動として、地域での生活には組織に定着した日本型雇用慣行を持ち込まないという信条に基づき、小中学生から高齢者に及ぶ幅広い年齢層への、野外見学のみならず教室での授業形式で精力的に行っている様子が紹介されました。つぎに、共生まちづくりコーディネーターの寺本眞子さんからは、新潟県上越市直江津で巨大ショッピングセンター活性化事業に取り組んだ経験についてのお話がありました。行政と地域住民およびショッピングセンター事業主との間に入って、立場の違いやグループ間の対立、ジェネレーションギャップなどでコミュニケーションがまったくとれなかった 3 者間の関係を円滑化・活性化すべく努力したということです。ご自身のその基本姿勢を「変換力・柔軟力」という用語で表現されました。第 3 に、広島市のワーカーズコープで協同労働を実践されている 30 代の小暮航さんから、多様な生活経験を持つ高齢者が多い環境の中で、世代間のギャップや違和感を抱きながらも、きつかったと振り返る状況を克服してきた経緯が紹介されました。高齢者といっても一口でまとめられない多様性があり、それぞれの経験の違いから学ぶ姿勢を身につけ相互に馴染む努力を重ねているということです。最後に、岩手県大槌町で災害復興に関する調査研究と支援活動を続けながらも、被災者である配偶者とともに地域住民として復興活動にも携わっている 30 代の野坂眞さんは、高齢者や若者とともに地域で中心的役割を果たしていた中堅世代を津波災害で失った大槌町で、残された人々が外部から来る支援者と、年齢や性別にこだわりのない「give & given」という地域福祉関係が構築されてきた経緯について説明されました。

それらについて原田さん、袖井会長のコメントがあり、最後は久しぶりに会場にお出でいただいた濱口晴彦副会長から閉会の挨拶があり、終了となりました。詳しくは『エイジレスフォーラム 21 号』に掲載される予定ですので、そちらをご覧ください。



- ◆ 大会終了後のアンケートでは、以下のような意見が寄せられました。
- * エイジズムについて多様な側面から考えることができました。
- * 年齢による差別や偏見は重要な問題ではありますが、日本社会では必ずしも高齢者が差別や偏見の対象になりやすいとも言い切れないように思います。ただ、年齢や世代の違いゆえにコミュニケーションや相互理解が阻害される傾向は様々な事例のなかに見出せます。とりわけ身近な地域社会のなかでいかに相互理解を図っていくか、個人化傾向の強まる今日の重要課題だと思いました。
- * それぞれの具体事例をもとにお話をお伺いでき、学びを得ました。またパネリストの皆さまそれぞれの活動が社会の原動力になっていて励みになりました。
- * 趣向の異なる「世代間をつなぐ仕事」を拝聴できて大変有意義でございました。パネリストや事務局の方々のご準備に感謝いたします。今後の希望と致しまして、パネリスト同士のディスカッションも展開していただければ、参加者にとって更に有意義になるのでは、と思います。ディスカッションすることで、各パネリストの活動の特徴が浮き彫りになり、テーマ（今回ですと世代間の協調・連帯）を実現するための方法が多少ともパターン化されて、参加者が今後の活動の指針や参考にすることができると考えます。
- * 専門性を生かした地域貢献のあり方について考えさせられました。
- * 職業、ボランティア活動、研究など、多様な立場から地域や個人の課題に対応する取り組みをされている方々のお話を伺うことができ、刺激的でした。
- * ひとつひとつ事例や経験に基づく貴重な報告でおもしろかった。大会のテーマである年齢格差の格差の部分のディスカッションをもう少し展開してもよかったように思う。

2. 2022年度連続講座『長寿時代を生き抜く知恵』のおしらせ

平均寿命が男女とも80歳を超え、ほぼ9割の人が65歳まで生きるといふ本格的な長寿時代がやってきました。長生きはめでたいことなのに、現在の日本では、少子化のさらなる進展、景気の低迷、物価高、コロナ感染への不安、国際関係の緊張など必ずしも長寿を喜べないような不安材料が山積んでいます。安心して高齢期を迎えるうえで、この講座がお役に立てることを心より願っております。

◆第1回テーマ：ICTで広がる世界～ICT利用のコツと注意事項

日 時：9月10日（土） 14：00～16：00

講 師：八巻睦子（一般社団法人シニア社会学会運営委員、社会情報研究会）

◆第2回テーマ：介護が必要になったら～上手に使おう介護保険

日 時：10月15日（土） 14：00～16：00

講 師：角田とよ子（一般社団法人シニア社会学会会員、株式会社wiiw キャリアと介護の両立相談室長）

◆第3回テーマ：成年後見制度と老後にかかるお金について～ライフプランと終活を考えよう

日 時：11月12日（土） 14：00～16：00

講 師：宗像亜矢子（コスモス成年後見サポートセンター埼玉支部会員・行政書士）

※ 東京家政学院大学との共催

※ 会場：東京家政学院大学三番町キャンパス 1301 教室

※ ハイブリッド方式

※ 参加費：各回1000円（支払い方法：Peatix、口座振り込み、当日会場にて支払の何れか）

尚、詳しくは添付します「連続講座」のお知らせチラシを参照ください。

3. 研究会からのお知らせ

(1) 第34回 「ライフプロデュース」研究会のご案内

1) 日 時：7月26日（火） 17：30～19：30 Zoom開催。

2) テーマ：① 70代に突入！した、元食品会社営業マンが紐解く、

【70歳が老化の分かれ道】ファシリテーター 若井泰樹

② この道50年、来年、米寿を迎える現役薬剤師が実体験から分析する

【80歳の壁】ファシリテーター 和田久子

◇参考図書◇

1. [70歳が老化の分かれ道 和田秀樹（著） | 詩想社 -Shisosha-](#) 和田秀樹 著

2. [80歳の壁 | 株式会社 幻冬舎 \(gentosha.co.jp\)](#) 和田秀樹 著

●和田秀樹（わだ ひでき）略歴●

1960年大阪府生まれ。東京大学医学部卒。精神科医。東京大学医学部附属病院精神神経科助手、米国カール・メニングァー精神医学学校国際フェローを経て、現在、和田秀樹こころと体のクリニック院長。高齢者専門の精神科医として、30年以上にわたって、高齢者医療の現場に携わっている。主な著書に『自分が高齢になるということ』（新講社）、『年代別 医学的に正しい生き方』（講談社）、『六十代と七十代 心と体の整え方』（バジリコ）、『「人生100年」老年格差』（詩想社）などがある。

※ 参加希望の方はZoom招待状を送りますので、中村までご連絡ください。

※ 連絡先：nakamurayoshiko6@gmail.com

(2) 第142回「社会保障」研究会開催のお知らせ（再掲）

1) 日 時：2022年7月27日（水） 18：00～20：00

- 2) 報告者：佐藤 惟（東京福祉大学講師）
 3) テーマ：「単身高齢社会における人生会議のあり方とは」
 4) Zoom でいたしますので、参加を希望される方は、阿部と小島にご連絡ください。
 （阿部富士子 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp 小島みさお kojima.misao01@gmail.com）
 ※ ご質問がありましたら、阿部（旧姓佐藤）まで 090-4436-6853

(3) 第143回 「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2022年8月24日（水） 18:00～20:00
 2) 報告者：増田雅暢（東京通信大学人間福祉学部教授）
 3) テーマ：「介護保険と介護者支援——その現状と課題」
 4) Zoom でいたしますので、参加を希望される方は、阿部と小島にご連絡ください。
 （阿部富士子 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp 小島みさお kojima.misao01@gmail.com）
 ※ ご質問がありましたら、阿部（旧姓佐藤）まで 090-4436-6853

4. 研究会からの概要報告

(1) 第32回「社会情報」研究会の報告

- 1) 日 時：2022年6月15日（水） 15:00～17:00
 2) 場 所：上野区民館 201 会議室とZoomのハイブリッド
 3) テーマ：俱進会調査研究 インタビュー調査について
- ① スケジュール及び実施場所の確認、実施の流れの確認
 - ・実務的打ち合わせのため、記事では割愛
 - ② インタビュー内容、ストーリーなど
 - ・専門家の対象者などは通信速度や契約容量などを語る人がいる。それがスマホ機種選択、キャリアや契約選択などにつながる。一般ユーザではどうなっているのか？これらも質問項目の候補。高齢者一般ではあまり意識されないかもしれない。
 - ・初心者高齢者ではスマホ教室がついていることがポイントになることが多い。キャリアが違っても役所補助金が出るから受講が可能なのが実態。
 - ・スマホを使い切れずに、困ってキャリアのショップに聞きに来る高齢者はとても多い。学んだ内容はすぐ忘れる。困ったときにShopに行っても「予約が必要です」と断られる。コールセンターは「いつもビジー」で繋がらない。
 例) スマホアプリを削除する方法が分からない✓
 LINE 仲間がスタバに集まっても、彼ら全員の新グループを作れない。
 - ・スマホの取扱説明書がない
 メーカーも社員も取説を作りたくない。トラブル対応がタイヘンになるからヤリタクナイ。もともと完全なものは不可能。スマホは何でも出来るはずだが、アプリ次第で内容が異なる。
 - ・インタビューでは「カタカナ言葉、ローマ字頭文字」では通じないと考えておくべき
 SNS 利用ばかりなので、困ったときのGoogle検索さえ良く知らないことも。デフォルト設定を直さないから、設定すら良く知らない。
 - ・端末価格、毎月の利用料金の意識はどのくらいか？
 価格や月額料金が通信サービスのポイント。高齢者はどのくらい意識しているのか？
 スマホ機種やキャリア、契約などは若い家族に頼っていることが多い。 (森 記)

(2) 第79回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日 時：2022年6月23日（木） 15:00～18:00
 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室

3) テーマ：発表と討議 — 「基本的人権」及び「自民党憲法改正草案」への警戒警報

4) 発表者：佐藤 敬

1時間半に及び佐藤さんの日本国憲法の「基本的人権への危機意識」と「自民党憲法改正草案」に関する発表は、ご自身の勉強の深さと厚さをベースに、大変内容が濃く、説得力のあるものでした。発表の前半は、「基本的人権」について、後半は「自民党憲法改正草案」についてでしたが、発表は樋口陽一、小林節、長谷部恭男、川島武宣、井上ひさし、内田樹、竹越與三郎諸氏の著書からの引用と共に、佐藤さん自身の明快な意見を中心に述べられました。

第97条こそが現行憲法の「スピリッツ」の真髄であり、改訂憲法に基本的人権を侵すような緊急事態条項を入れ込もうとすると、第97条とバッティングすることになる。それゆえ目障りな第97条を排除しようと考えたのだろう。

前文は憲法の精神のエッセンスである。日本国憲法は、戦前の日本を支配していた神懸りの偏狭ナショナリズムの原理を捨て去って「人類普遍の原理」を選び取り、それを国家再生の基礎に置くという意思を国際社会に向けてアピールするという使命を帯びていた。だから井上ひさしが言うように、「外国人にわからないようなことを日本人だけでありかたがってはならない」のである。

第9条改憲の主張は論拠が不確かである。日本が「軍隊」を持つ、すなわち戦争をするにやぶさかでない国になるかどうかを決めるのは、いざとなったら戦場に駆り出される若い世代であるべきで、10年後にはこの世にいないわれわれ年寄りであってはならない。「戦争とは爺さんが始めて、おっさんが命令し、若者たちが死んでいくもの」という大橋巨泉の残した名言があるが、私は戦争を始めた爺さんになるのは真っ平御免である。年寄りの務めは自分たちが戦争に遭わず生きてくることができた平和な日本を次世代にそっくり引き渡すことである。

井上ひさしがいうように憲法が「この国のかたち」であるとするならば、その骨格を支える三本の柱が「人間の尊重」「国民主権」「永久平和」ということになる。そしてこれこそ前文が掲げる「人類普遍の原理」であり、第11条、第97条が謳う「永久の権利」なのです。もし私が改憲をギリギリ容認するとすれば、この三本柱に揺るぎがない場合に限りです。自民党改憲草案では、この三本柱はグラグラ大揺れで倒壊寸前です。ですから私はこの自民党改憲草案は絶対認めるわけにはいきません。柱を支える側に立ち続けたいと思っています。と締めくくられた。

発表の後、活発な意見交換が行なわれたが、出席者それぞれの憲法に対する思いが浮かび上がり、興味深い意見交換となった。

最後に、濱口座長は、現憲法の成立への思いを述べられた。特に3つの解放として、「農地解放」、「財閥解体」そして「天皇制の問題」に関してコメントされた。 (島村 記)

(3) 第33回 「ライフプロデュース」研究会の報告 (Zoom開催)

1) 日 時：2022年6月29日(火) 17:30~19:30

2) 参加者：計7名 (M2名 F5名)

【初夏の納涼Web飲み会】を開催しました。それぞれの飲み物を紹介後、現在、自分の関心のあるお話、好きなジャンルのお話、最近、再開した趣味のお話など、各々が用意したパワーポイント資料で、10分間程度ずつ、お話していただきました。

参加メンバーの提供話題は【ジャズと譜面の見方】【私の好きな俳句】【自分の思いを川柳に込めて】【私とガーデニング】【薬もやま話 その二】【私と読書】【社会復帰？ いえ、(写真)復帰しました！】でした。提案者の小川文男さんは、ライブ活動もされているアマチュアのアルトサックス奏者で、ジャズの歴史、譜面の見方、インプロヴィゼーションとアドリブの違い、ジャズの楽しみ方の解説の後に、ご自身が演奏された音源で、【Someday my prince will come】を聴かせてくれ、一同、アルトサックスの音色にうっとり。

それぞれのお話を通して、我々の世代が、五感を活性化し、瑞々しい感性を保つには、趣味や好きなこと、無心の境地で没頭できることがあることは大切だということ、その貴重な時間を大切に愛でること

によって、日常に潤いを感じ、明日の活力になることを、分かち合い、共感しあった、「初夏のWeb納涼会」でした。
(中村昌子 記)

5. 事務局からのお知らせとお願い

<「いきがい・助け合いサミット in 東京」参加申し込みのご案内>

6月にエイジレスフォーラムを送付した際に同封しておりました、さわやか福祉財団主催の「いきがい・助け合いサミット in 東京」の参加申し込みが今月末となりました。昨年に引き続き、シニア社会学会から袖井会長（アドバイザー）・澤岡理事（進行役）お二方がパネル分科会31に登壇いたします。開催日時は2022年9月2日（金）13時～、会場はグランドプリンスホテル新高輪・国際館パミール、参加方法は会場参加 or オンライン参加、参加費は参加方法に関わらず1名2,000円。詳しくは、エイジレスフォーラムに同封したパンフレットをご参照ください。さわやか福祉財団のHP（<https://summit.sawayakazaidan.or.jp>）にも開催要領やお申し込みのご案内が掲載されていますのでご参照の上ご検討をよろしくお願いいたします。

<会員情報変更時のご連絡のお願い>

コロナ禍中、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・eメールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あてに、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせくださいますようお願いいたします。

<8月JAAS Newsの発行日>

次回JAAS News第276号の発行日は、8月24日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、8月17日（水）までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

<事務局移転のお知らせとお願い>

一般社団法人シニア社会学会は、6月21日発行のニュースでお知らせしましたように、これまで長年お世話になった渋谷区渋谷から千代田区神田錦町に移転が完了しましたのでご報告いたします。以下に新しい住所と電話番号を記載してあります。しかしシェアオフィスでもありつねに事務局員が常駐する形で運営することは困難ですので、ご連絡は出きるかぎりeメールでお願いいたします（電話を頂戴しても今のところ出られない状況です）。今後の事務所運営について、皆様にもぜひご了解いただきご協力いただきたくお願い申し上げます。

シニア社会学会 事務局一同

事務局 夏季休暇 8月10日（水）～8月17日（水）迄
一般社団法人 シニア社会学会・事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクエア1037
電話&：(03) 5259-8515
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>